

やまが Yamaga City council News

市議会だより

第43号
6月定例会

令和6年9月1日
発行／山鹿市議会



議員間討議を開催!!

市が抱える課題などを議題として自由に意見を交わす「議員間討議」を開き、3つの項目について全議員で討議を行いました。

《もくじ》

政務活動費報告	2
議会報告会のご案内	3
予算決算委員会	4
各委員会レポート	5～6
質疑・一般質問	6～11
賛否表・討論	12
主権者教育	13
議会の主な動き他	14

令和5年度「政務活動費」の概要を報告します

山鹿市議会の政務活動費は「山鹿市議会政務活動費の交付に関する条例」に基づき、議員一人に対し月額2万円(年額24万円)が、毎年度4月に当該年度分として交付され、住民福祉の増進を図るために必要な議員活動にかかる経費に使うことができます。

収支報告は、翌年度の5月末までに領収書その他支出を証する書面を所定の収支報告書に添えて議長へ提出しなければなりません。交付総額から残金がある場合は市へ返還することとなります。(収支報告書の保存は5年間)

令和5年度 政務活動費 議員別収支報告

議席番号	氏 名	交付額	使 途 基 準 (項 目)										合 計	返 還 額	公費 使用 額
			調 査 研 究 費	研 修 費	広 報 費	広 聴 費	要 望・陳 情 活 動 費	会 議 費	資 料 作 成 費	資 料 購 入 費	人 件 費	事 務 所 費			
1	関口 和良	240,000	87,500	0	0	0	81,443	0	0	105,101	0	12,000	286,044	0	240,000
2	永田 壮弘	240,000	75,930	113,100	0	0	0	0	0	113,160	0	12,000	314,190	0	240,000
3	深牧 大助	240,000	72,100	147,600	0	0	0	0	0	43,200	0	12,000	274,900	0	240,000
4	原 芳 郎	240,000	87,500	3,000	0	0	81,443	0	0	74,676	0	12,000	258,619	0	240,000
5	隈部 賢治	240,000	72,100	70,320	0	0	0	0	5,265	43,200	0	12,000	202,885	37,115	202,885
6	高橋 龍一	240,000	0	27,200	11,530	0	0	0	2,000	50,200	0	12,000	102,930	137,070	102,930
7	豊田新二郎	240,000	72,100	166,788	0	0	0	0	0	48,100	0	12,000	298,988	0	240,000
8	山下 誠治	240,000	87,500	3,000	0	0	81,443	0	0	130,900	0	12,000	314,843	0	240,000
9	古川 和博	240,000	53,070	72,920	0	0	0	0	1,600	122,476	0	12,000	262,066	0	240,000
10	金光 一誠	240,000	87,500	3,000	0	0	81,443	0	3,850	54,360	0	12,704	242,857	0	240,000
11	松見 真一	240,000	52,160	185,712	0	0	0	0	0	0	0	12,000	249,872	0	240,000
13	小川 榮二	240,000	72,100	3,000	0	0	0	0	4,370	54,360	0	12,000	145,830	94,170	145,830
14	芋生よしや	240,000	0	15,000	404,129	0	0	0	16,260	110,642	0	20,445	566,476	0	240,000
15	勢田 昭一	240,000	71,750	3,000	48,400	0	0	0	5,425	85,367	0	72,000	285,942	0	240,000
16	有働 辰喜	240,000	126,376	92,280	0	0	0	0	0	34,232	0	12,000	264,888	0	240,000
17	服部 香代	240,000	0	154,500	15,193	0	0	0	0	59,450	0	12,000	241,143	0	240,000
18	富丸洋一郎	240,000	0	0	0	0	0	0	0	58,246	0	12,000	70,246	169,754	70,246
19	北原 昭三	240,000	0	0	90,153	0	0	0	14,229	127,010	0	12,693	244,085	0	240,000
20	永田 紘二	240,000	109,420	87,400	0	0	0	0	0	62,760	0	12,000	271,580	0	240,000
合 計		4,560,000	1,127,106	1,147,820	569,405	0	325,772	0	52,999	1,377,440	0	297,842	4,898,384	438,109	4,121,891
構 成 比		—	23.0%	23.4%	11.6%	0.0%	6.7%	0.0%	1.1%	28.1%	0.0%	6.1%	—	—	—

執行率 90.39%
完全執行 15名

詳細につきましては山鹿市議会ホームページに掲載しております。



市議会にあなたの声をお聞かせください

令和6年度

事前申し込み不要

議会報告会の開催について

- 日 時 令和6年10月11日(金曜日) 19時～20時30分
- 場 所 山鹿市役所(5階) 501会議室
- 対象者 全市民
- 内 容 常任委員会行政視察研修の報告

市民福祉委員会

テーマ

- ・健幸アップ事業(むつ市)
- ・ユニバーサルタウン
三沢推進事業(三沢市)

総務文教委員会

テーマ

- ・北部学校給食施設整備事業
(安城市)
- ・部活動地域移行の取組
(江南市)

建設経済委員会

テーマ

- ・企業誘致『大札新パートナーズ』(札幌市)
- ・道の駅『あいろーど厚田』(石狩市)
- ・観光振興への取組(小樽市)

山鹿市議会の活動報告とともに市民の皆さんとの懇談会を実施します。
多くの皆様のご参加をお待ちしております。

※当日は市議会だより掲載用の写真を撮らせていただきます。

お問い合わせ先 山鹿市議会事務局 ☎0968-43-1634

主催：山鹿市議会

予算決算委員会

建設経済分科会

農産物生産振興事業について

問 農産物生産振興事業の内容について伺う。

答 本事業のうち「攻めの園芸生産対策事業」に2件の申請があり、導入を支援する機材については、施設園芸用温風暖房機導入、単棟パイプハウス整備である。

また「施設園芸産地緊急発展事業」には、4件の申請があり、中古ハウスの移設1件、既存ハウスの補修2件、既存ハウスの仕様変更1件に対して支援を行うもの。補助率は両事業とも3分の1であり、財源は熊本県の補助金である。

総務文教分科会

学校給食施設再編整備事業

問 総額約32億円を投じて整備する計画の新給食センターについて、公設方式にて整備することだが、事業費を圧縮するためPFI方式（注）の導入について検討はなされたか伺う。

答 基本構想、基本計画策定にあたり他自治体の取り組み状況の確認や先進地視察を行い、PFI方式の導入についても検討を行った。その結果、メリット、デメリットを考慮し、従来どおり公設方式を採用することとした。

（注）PFI方式とは

公共事業を実施するための手法の一つ。民間の資金と経営能力・技術力（ノウハウ）を活用し、公共施設等の設計・建設・改修更新や維持管理・運営を行う手法。

（内閣府HPより抜粋）

市民福祉分科会

新型コロナワクチン接種が定期接種へ

今年度より、新型コロナワクチン接種が定期接種となり今回は65歳以上及び60歳から64歳までの基礎疾患を有する方が対象となる。65歳以上の対象者は1万8930人で、その6割の方が接種されると考えている。自己負担額については生活保護・市民税非課税世帯の方は0円、市民税課税世帯の方は2100円である。

物価高騰対応重点支援給付事業

対象は、新たに住民税非課税等となる世帯分が1200世帯とその世帯に属する18歳以下の子どもを約300人、定額減税に係る調整給付金の分が18774人と見込んでいる。

【予算決算委員会からの意見・要望】

①物価高騰対応重点支援給付事業について、プッシュ型の通知内容が分かりにくいとの市民の声があるため、より分かりやすい文章作成に努めていただきたい。

②学校給食施設再編整備事業について、給食センターの実施設計から建設まで長期の計画となっているため、実施設計の早急な取り組みに努めていただきたい。

6/20
開催

建設経済委員会レポート

◎小川 榮二 ○隈部 賢治
松見 真一 豊田新二郎
北原 昭三
関口 和良

鹿本広域農道1号線 (鹿央町岩原地内)

令和2年7月3日から7月14日にかけての梅雨前線豪雨により斜面が崩壊して通行止めになっていた鹿本広域農道1号線の復旧工事が令和6年6月14日に完了した。

現地調査



津留配水池施設整備事業 (津留地内)

津留配水池の送水管等が令和2年7月の集中豪雨で被災したため、旧鶴城中グラウンド跡地に新たな施設整備が進む。新施設の供用開始は本年11月を予定している。

現地調査



【その他 主な審査事項】

●山鹿市下水道条例の一部改正

6/21
開催

市民福祉委員会レポート

◎勢田 昭一 ○金光 一誠
山下 誠治 深牧 大助
芋生よしや
永田 壮拓

現行の健康保険証の当面の間の存続を求める陳情

陳情第5号「現行の健康保険証について当面の間の存続を求める陳情書」について審査を行った。

【委員の意見】

○マイナ保険証に対する国民の不安が払拭されるまでは現行の健康保険証を存続させることが大事だ。

○マイナ保険証は医療機関にとっても私たち国民にとってもメリットになり推進すべきだ。

○現行の保険証が、国保や後期高齢者医療は令和7年7月末まで、その他の保険は最長1年間(令和7年12月1日まで)経過措置により使用でき、マイナンバーカードを取得していない方は保険証と同様の機能を持った資格確認書で対応できることから、陳情書にある当面の間の存続を求める意見に見合った措置が取られていると思う。そのため現時点では判断をせずに継続審査としてはどうか。

【委員会の判断】

引き続き慎重に審査する必要があると認め、継続審査すべきものとした。

【その他 主な審査事項】

●山鹿市国民健康保険税条例の一部改正

●山鹿市重度心身障害者医療費助成に関する条例の一部改正

●子育て世帯の負担軽減と少子化対策のために国保税の子どもの均等割の減免を求める陳情書



6/24
開催

総務文教委員会レポート

◎富丸洋一郎 ○原 芳郎 永田 紘一
有働 辰喜 古川 和博 高橋 龍一

山鹿市ふれあい塾を廃止

長年親しまれてきた鹿央町のふれあい塾ですが、設備の故障や老朽化に伴い施設を廃止し、解体することになりました。

現地調査

- 鹿本給食センター
- 菊鹿給食センター
- 新給食センター建設予定地
(旧鶴城中学校グラウンド)



鹿本給食センター

【その他 主な審査事項】

- 山鹿市個人番号の利用に関する条例の一部改正

問 山鹿ビルの現在の状況と今後について

答 中心市街地のさらなる賑わい創出を目指し、地域の活性化に向けて着実に事業を進める

過去の議会でも質問
令和4年9月

とよだ しんじろう
豊田 新二郎 議員
(鹿政不動産会)



現在の山鹿ビル

その他の質問

- ・ 教員不足の対応について
- ・ 公園の維持管理と整備計画について
- ・ 企業版ふるさと納税について

問 ①山鹿ビルの建物解体に向けての協議を重ねていると思うが、現在の状況を伺う。

②山鹿ビルの解体後の土地利用について、本市としての具体的なビジョンや計画について伺う。

答 ①建設部長

各区分所有者と個別に面談し、条件交渉を進めているが、全ての所有者の承諾は得られていない。本年度末を判断期限とし、全員の同意が得られない場合は法的手続きによる解体を選択できるよう、その条件である「特定要除却認定」を取得するため、現在、建物の

耐震診断調査を進めており、年度内の認定取得を目指している。その結果を踏まえ、解体に向けた取り組みを行う予定である。

②建設部長

周辺エリアを含めたビジョンの骨子案を検討する。市民が集いふれ合える施設や観光客が立ち寄れる施設、山鹿の魅力を発信できる施設や住居施設などを考えている。中心市街地のさらなる賑わい創出を目指し、地域の活性化に向けて着実に事業を進める予定である。具体的なスケジュールについても、骨子案に合わせ検討する予定である。



問 アピアランスケアについて

答 助成に向けた取り組みを進めていきたい

きたはら しょうぞう
北原 昭三 議員
(公明党)



アピアランスケア（外見ケア）とは、がんやがん治療の副作用により生じた外見の変化に対するケアのこと。



帽子・ウィッグ

その他の質問

- ・市政運営について
- ・带状疱疹ワクチン接種について

答 福祉部長

がん患者の心理負担を軽減するとともに、治療と社会参加の両立や療養生活の質の維持向上を支援するため

熊本市は6月から、ケアに必要なウィッグや乳房の補整具の助成事業の受付を始めるにあつた。県内では、熊本市や大津町など6市町村が先行して費用助成をしている。全国的にも多くの自治体が購入費用の助成を始めている。購入に対する助成について山鹿市の見解を伺う。

に、がん治療による外見の変化に悩む方へのサポートは重要なことと認識している。本市としても、購入費用の助成に対するニーズを含め、費用助成を行っている自治体の状況を把握し、補助対象用具の内容や費用助成額等の精査を行いながら、県の補助金等も勘案し助成に向けた取り組みを進めていきたいと考えている。



問 観光施策について伺う

答 今年度は5つのインバウンド事業に重点的に取り組む

まつみ しんいち
松見 真一 議員
(清風やまが)



答 商工観光部長

インバウンド事業の今年度の主な取り組み内容、外国人宿泊客数の目標と観光消費額の見込みを伺う。

人口減少が進む中で、インバウンドの拡大は地域経済の活性化に向けて重要であり、TSMCの進出を台湾との交流拡大の好機と捉え、今年度は5つの事業に重点的に取り組む。

- ① インバウンド受入環境整備補助事業により観光事業者を支援する。
- ② 台湾人向け情報サイトを構築する。
- ③ 台湾歌劇団を招聘し、交流イベントを八千代座周辺で9月に実施する。
- ④ 熊本市居住の外国人をターゲットに、直行シャトルバスを9月から運行する。
- ⑤ 外国語が堪能な地域おこし協力隊を任用し、観光事業者の受入支援等を行う。



台湾旅行会社による八千代座視察

その他の質問

- ・市行政のDXの取組について

問 がん検診の状況とその後の対応は

答 要精密検査の通知件数は、7,840件中466件

たかはし りゅういち
高橋 龍一 議員
(鹿政不動産会)



問 山鹿市民医療センターでは、「がん検診」「高齢者医療」「予防医療」を3本の柱として掲げている。その中でも「がん」は日本人の死因のトップであり、市民の皆さんの関心が高い「がん検診」の状況と発見、治療までの流れについて伺う。

答 市民医療センター事務部長

当センターでは、平成24年に熊本県指定がん診療連携拠点病院の指定を受け、診断から手術、化学療法などの治療を行っている。が



その他の質問

- ・水道料金改定後の状況について
- ・市職員のプロフェッショナル化について

ん検診（胃がん、肺がん、大腸がん、乳がん、子宮頸がん）については、令和5年度は7840件を実施し、内466件（全体の5・9％）に要精密検査の通知を行っている。これらの「がん」の精密検査のほか、胃がん、大腸がん、肝がんについては外科手術や化学療法が可能。また、県北唯一の緩和ケア病棟を持ち、患者やご家族の皆さまに寄り添ったケアを提供している。

問 市民の願い国保税の子どもの均等割軽減を

答 国がすべきで独自軽減は困難

過去の議会でも質問

令和元年3月・6月、令和2年6月
令和3年3月、令和4年6月、令和5年6月

いもう
芋生 よしや 議員
(日本共産党)



問 ①物価高騰下での生活支援、子育て支援のために、産まれてすぐの赤ちゃんにも発生する国民健康保険税の均等割額の軽減を「未就学児童限定」でなく「18歳まで対象拡大実施」を求め、市民1666名の陳情が提出されている。国が、子ども医療費無償化に課していたペナルティー廃止をした影響額などを活用し、子どもの均等割額の軽減はできないか。「選ばれる山鹿」「健幸都市宣言」をうたっているのだから市民の願いに応え、支援する考えはないか。

答 市長

①国民健康保険制度は、国民皆保険制度の根幹をなす制度だが、構造的な課題を抱えている。市町村個々の課題では

なく、国の責任において解決すべきであり、全国市長会を通じた国への働きかけを今後も続けていく。「選ばれる山鹿」「健幸都市宣言」に掲げる支援は、国保税均等割額軽減等の国保固有の施策の推進ではなく、市民全てに係る施策を推進していくことが重要である。

答 福祉部長

②既に国保税等の財源補填のために国保財政調整基金を活用していることから、一部の世帯を対象とした軽減であっても、その分を全ての国保被保険者の国保税へ更に乗せする必要がある、本市独自の軽減は困難である。

その他の質問

- ・クーリングシェルター設置・拡大について
- ・物価高騰下での安心でおいしい保育園副食・学校給食の確保について



問 中心市街地の区画整理について

答 まちづくりの多種多様な手法の調査・研究を行う

ふかまき だいすけ
深牧 大助 議員
(鹿政不動産)



敷地整序型土地区画整理事業

問 ①山鹿市の土地区画整理事業の実施状況は。
②中心市街地の空き地、空き家対策としての土地区画整理計画は。
③小規模な区画整理や敷地整序型土地区画整理事業など検討してはどうか。

答 建設部長
①本市の事業として「湯の尻区画整理」を昭和33年から49年まで約43ha実施。市主体ではなく組合による事業が「大宮通土地区画整理」を昭和39年に約0.8ha。「中町火災復興土地区画整理」を昭和47年に約0.5ha実施されている。

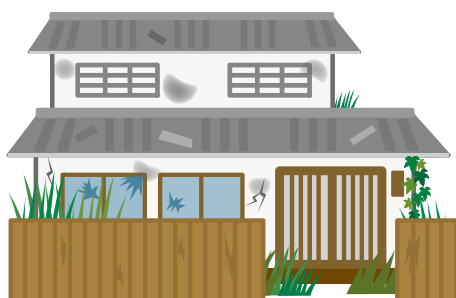
②市街地形成がおおむね完了している中心市街地においては大規模な事業実施は現実的な手法とは考えられないが、まちづくりにおける有効で極めて効果が高い手法のひとつであるため、範囲を絞った小規模な区画整理などを調査・研究をしていく予定である。
③小規模な範囲を連鎖的に行う区画整理や必要な箇所だけをスポット的に行う「敷地整序型土地区画整理事業」などいくつかある。また、主体も市や組合を作って行う方法や個人で行うことも可能である。今後、土地区画整理事業以外のまちづくり手法と併せて調査研究を行う。



問 空き家の現状と今後の取組は

答 可能な範囲で訪問、手がつかない状態の解消を目指す

やました せいじ
山下 誠治 議員
(れいわ創造)



問 ①空き家の現状と対応状況。
②今後の取組を伺う。

答 建設部長
①令和5年度調査の結果、空き家総数1613戸、現状のまま利用可能、軽微な修理で利用することができる空き家が876戸、管理不全な状態が737戸となっている。
現在の対応は現地調査・確認を行い所有者等を特定したのち口頭や文書による助言・指導を行うとともに「上限60万円を補助する特定空き

家等除去促進事業」の活用働きかけを行っている。
②通知を発送しても回答が得られない場合など、可能な範囲で訪問し聞き取りを行うなど、手がつかない状態の解消を目指す。
また、居住されている段階から空き家等に関する問題意識を高めるための啓発、予防や管理、賃貸などの活用、相続に関する情報提供などの周知を図り、新たな空き家等の発生抑制や解消に努める。

その他の質問

- ・ふるさと納税について
- ・図書館ネットワーク、電子図書館導入について

問 八千代座の活用に関する将来の在り方は

答 市民の宝である八千代座の次世代への継承を図っていく

せきぐち かずよし
関口 和良 議員
(れいわ創造)



八千代座

その他の質問

- ・第2期山鹿市都市計画マスタープランについて

問 山鹿のランドマーク（象徴となる建造物）である八千代座の将来の在り方について伺う。

答 教育部長

八千代座は国指定重要文化財であり、本市観光の核となる存在である一方で、地元の小中学校や文化団体など、市民による発表の場として活用されており、文化芸術活動に欠かせない施設でもある。昨今、文化財保護に関する国の方針においては、その価値を維持するという「保存」と、多くの方の利用や

見学という「活用」は、ともに文化財保護を図る上で重要な柱と位置付けられ、保存活用計画の認定が制度化された。本市においても、この「保存」と「活用」の円滑な推進を念頭に昨年度策定した「八千代座保存活用計画」に基づき、適切な保存管理と活用による理解促進に努める。また、今年度策定を予定している「山鹿市文化芸術推進基本計画」においても、文化芸術活動の場として八千代座の今後の在り方を考えていく。

問 外国人労働者の現状と課題は

答 技能実習生228人、特定技能1号取得者92人計320人が住民登録

せいだ しょういち
勢田 昭一 議員



問 本市にどれだけ外国人労働者の方が働いておられるのか？その現状と課題は何か。

また、令和9年度からは「技能実習」に代わり、新たに「育成成就制度」が始まることを前提に伺う。

答 総務部長

外国人の在留資格は、技能実習と特定技能の2種類がある。令和6年5月末現在、技能実習生は、228人。特定技能1号取得者は、92人。合計320人が住民登録をされている。課題としては、①日本

語能力や日本文化への理解不足から雇用側とのコミュニケーションで誤解を生じる②実習生同士のネットワークを通じて賃金などの条件の良い職場への転籍③雇用期間の満了前に辞める等がある。本市としても人口減少（特に生産年齢人口の減少）は、地域経済の縮小につながるため、労働人口の確保は、とても重要である。また、企業や団体、個人経営者などの受け皿を増やすための取組も重要と考える。

その他の質問

- ・義務教育の特色づくりについて
<共創の視点で>
- ・地域づくり（祭り）について
<共存の視点で>



問 学校給食について

答 給食センターの整備方針は公設(直営事業)で

かねみつ いっせい
金光 一誠 議員
(れいわ創造)



答 教育部長
①②学校給食の地産地消は、米については調達先である県学校給食会に対し、山鹿市産を指定して購入している。また、肉や野菜の生鮮食品についても、市内の業者を通じ、極力地元産食品の仕入れ

問 ロシアのウクライナ侵攻以降、物価は上昇し続け、子育て家庭も苦しい状況にあるとの想いから、給食費の現状について伺う。
①学校給食費の地産地消の現状について
②給食費の徴収状況について
次に、現段階での概算事業費で32.5億円かかる給食センターの整備手法と財源計画、PFI事業の検討について伺う。
③新しい給食センターの整備手法と財源計画について
④PFI事業の検討について

をお願いしている。なお、給食費の未納については、分納していたらいい。
③給食センターの整備手法は公設を考えている。財源見込みは、国の学校施設環境改善交付金を1割から2割、残りは過疎対策事業債をはじめとする地方債を財源として考えている。
④PFI事業についてはメリットとして公共負担の平準化が見込まれる反面、事業者選定の期間や費用などのデメリットがある。供用開始目標年次までの期間が限られることなど総合的に勘案し、従来方式を選択した。



問 山鹿地域難病対策について

答 山鹿保健所と連携して情報を共有し、相談支援に努める

ながた こうじ
永田 紘二 議員



きずなの会とその仲間たち
作品発表会

問 ①山鹿市内の難病患者数、山鹿地域難病対策地域協議会の構成メンバー・設置目的は何か伺う。
②山鹿市難病友の会「きずなの会」の概要について、市の支援状況及び今後の対応について伺う。
答 福祉部長
①県から指定難病医療受給者証を616人へ交付済み。山鹿地域難病対策地域協議会は、医師会や関係医療機関、難病友の会、社会福祉協議会、県・市の関係課等で構成され、相互に連絡を図ることで、難病患者への支援体制に関する課題について情報を共有し、相談支援に努めていく。

有し、地域の実情に応じた体制の整備について協議を行うものである。
②平成15年、当時の鹿本地区の難病患者・家族等で構成され発足し、会員相互の交流と親睦を図り、地域において生き生きと活動することを目的として組織された。会員数は正会員95名、賛助会員45名で、主な活動は定例会やサロン交流会、作品発表会、会報発行などが行われている。本市では広報紙等により市民に周知するなどの支援を図っている。今後は健康増進課が窓口となり、難病への理解を深め、山鹿保健所と連携して情報を共有し、相談支援に努めていく。

その他の質問

- ・会計年度任用職員の雇用について

令和6年(第3回)6月定例会における審議結果表

全会一致で原案可決等された議案

条 例 (専 決 処 分)	山鹿市税条例の一部を改正する条例	報 告	専決処分の報告について(車両事故)
	山鹿市都市計画税条例の一部を改正する条例		専決処分の報告について(市道の瑕疵による事故)
	山鹿市国民健康保険税条例の一部を改正する条例		令和5年度山鹿市一般会計繰越明許費繰越しの報告について
条 例	山鹿市税特別措置条例の一部を改正する条例		令和5年度山鹿市一般会計事故繰越しの報告について
	山鹿市重度心身障害者医療費助成に関する条例の一部を改正する条例		令和5年度山鹿市下水道事業会計予算繰越しの報告について(建設改良費の繰越し)
	山鹿市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例		令和5年度山鹿市下水道事業会計予算繰越しの報告について(事故繰越し)
	山鹿市下水道条例の一部を改正する条例		
	山鹿市ふれあい塾条例を廃止する条例		
その他	山鹿植木広域行政事務組合の共同処理する事務の変更に伴う財産処分について		

賛否が分かれた議案

* 議長は採決に加わりません
○は賛成 ●は反対 欠は欠席

議席番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	13	14	15	16	17	18	19	20
議員名		関口	永田	深牧	原	隈部	高橋	豊田	山下	古川	金光	松見	小川	芋生	勢田	有働	服部	富丸	北原	永田
件 名		和良	壮弘	大助	芳郎	賢治	龍一	新二	誠治	和博	一誠	真一	榮二	よしや	昭一	辰喜	香代	洋一	昭三	紘二
条例	山鹿市個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長	●	欠	●
補正予算	令和6年度山鹿市一般会計補正予算(第1号)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議長	●	欠	●

お詫びと訂正 前第42号の賛否表におきまして「北原昭一議員」と誤記載していました。お詫びいたします。

継続審査とされた陳情

陳 情	現行の健康保険証について当面の間の存続を求める陳情書
	子育て世帯の負担軽減と少子化対策のために国保税の子どもの均等割の減免を求める陳情書

芋生 よしや

個人番号の利用に関する条例改正 生活に困窮する外国人に対し「進学準備給付金」を「進学・就職準備給付金」に改め支給拡大することには賛成する。個人番号の利用拡大は、個人情報が一元的に管理・利用され行政事務にとっては効率性が高まるが、憲法の人権保障に関わる個人情報が集積され管理されることであり反対する。

一般会計補正予算 学校給食施設再編整備事業に対して、公設はよいが「何千食もの一括調理では、同一食材の確保、地産地消も難しくなる」「収穫したての食材の活用、においが漂ってくる調理が良い」「配送は災害時に困難となる事例もある」「食を通じた学びが心身を育てることは小・中学校までの子どもたちにとって一生の食生活に大きな影響を及ぼす」などの疑問も出ている。現在学生の保護者だけではなく、給食調理について規模を広げた議論の場を求め反対する。

反対討論

全議員による主権者教育出前授業

本年も昨年に引き続き、2月から5月にかけて山鹿市議会全議員による市内全小学校での主権者教育の出前授業を行いました。読み聞かせボランティアの方々にも協力していただき、絵本「ぼりぼり村のみんなしゅしゅぎ」を題材にして、児童のみなさんと地域の将来を考えました。写真は当日の様子です。



八幡小



鹿北小



三玉小



山鹿小



菊鹿小



めのだけ小



鹿本小



大道小

議会の主な動き

4月

- 1日(月) 教職員辞令交付式
- 2日(火) 国道3号植木バイパス建設促進期成会 監査
広報広聴委員会
- 3日(水) 全員協議会
議会運営委員会
- 10日(水) 熊本市議会議長会(荒尾市)
- 15日(月) 広報広聴委員会
- 18日(木) 百歳到達者表敬訪問
- 21日(日) 温泉祭御幸式
- 23日(火) 灯籠制作開始祭
- 25日(木) 九州市議会議長会(熊本市)
- 28日(日) 西南の役山鹿口戦没者慰霊祭

5月

- 1日(水) 広報広聴委員会
- 13日(月) 国連事務次長中満泉氏講演会
- 14日(火) 全国自治体病院協議会総会(東京)
- 16日(木) 全員協議会
広報広聴委員会
- 21日(火) 全国温泉所在都市議会総会(東京)
熊本市議会議長会(東京)
- 22日(水) 第100回全国市議会議長会定期総会(東京)
- 23日(木) 行政視察受入れ(北海道登別市議会)
- 24日(金) 主権者教育(めのだけ小学校)
- 30日(木) 百歳到達者表敬訪問
国道3号植木バイパス建設促進期成会総会
- 31日(金) 議会運営委員会

6月

- 2日(日) 山鹿市消防操法大会
- 7日(金) 6月定例会開会・全員協議会
広報広聴委員会
- 14日(金) 質疑・一般質問
- 17日(月) 質疑・一般質問・委員会付託
- 18日(火) 予算決算委員会
- 20日(木) 建設経済委員会
- 21日(金) 市民福祉委員会
- 24日(月) 総務文教委員会
- 26日(水) 予算決算委員会
広報広聴委員会
- 27日(木) 百歳到達者表敬訪問
- 28日(金) 議会運営委員会

広報広聴委員

芋生 よしや 古川 和博
高橋 龍一 山下 誠治
松見 真一 関口 和良

広報広聴委員会

関口和良

予報によりますと、9月も厳しい残暑が続く見込みです。皆様くれぐれもご自愛ください。

全国市議会議長会表彰受賞

「第100回全国市議会議長会定期総会」において、市議会議員として長きにわたり地方自治の発展と振興に貢献された功績により、特別表彰を受賞されました。



永田 紘二氏

【表彰規定】
25年以上市議会議員の職にある者

令和6年度 行政視察受入れ状況 ようこそ山鹿市へ

視察日	視察団体	視察内容
5/23(木)	北海道登別市議会	『やまがメイトの取組について』
7/17(水)	大分県竹田市議会	『歴史的まちなみ整備事業について』

編集後記

今年の7月は、全国的に太平洋高気圧が勢力を強め、気温が平年を大幅に上回りました。特に上空にまで高気圧が張り出したことで、日本全体が暖かい空気に覆われ、危険な暑さが続いた結果、1898年の統計開始以来、この126年間で最も暑い7月となりました。

スポーツ界の話題では、52年ぶりの本市出身のオリンピックである荒木遼太郎選手が、予選リーグから惜しくも敗れた準々決勝まで全試合に出場し、市民に大きな感動を与えてくれました。荒木選手の今後の更なる活躍を期待しています。

市議会では、新たな取り組みとして「議員間討議」がスタートしました。(本紙表紙写真をご覧ください)この議員間討議では、議員全員が市政の諸課題について深く議論し、執行部に対してより良い政策を提案していく予定です。市民の皆さまにご期待いただきたいと思います。